

週刊

鋼構造ジャーナル

2021

4 / 5 NO. 2025

週刊(毎週月曜日発行)/購読料・1ヵ年52,500円、6ヵ月28,500円(税込)/昭和55年9月26日第三種郵便物認可/発行所・株式会社 鋼構造出版/発行人・田中貴士 編集人・大熊稔/本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) FAX 03(5642)7077/大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) FAX 06(6536)7603/札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 FAX 011(873)3636/振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873/郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 次世代指導者の育成へ／全構協・近畿支部 (2面)
- 第36次検定は通常通りの内容で／AW検定協会 (2面)
- 「建築BIM推進会議」をウェブ開催／国土交通省 (5面)
- ウェブ併用で「第7期／番外編」の最終講義／東構塾 (6面)
- 再認証試験でNDIへ要望文書／CIW検査業協会 (8面)
- 上柿鉄工建設(奈良)を見学／大阪府鉄構組合・青年部 (10面)
- 太田昌志会長の留任を決議／関東Hグレード協議会が総会 (18面)
- コロナ下の組織運営 (19面)
- ベトナム人実習生を派遣／おやくだち拠点(高知) (22面)
- 特集／溶融亜鉛めつき加工 (23~29面)



①大竹支部長②③支部会のもよう④ウェブ併用のハイブリッド形式で開催

支部会をハイブリッド形式で開催

全構協・関東支部

共済事業は支部の所管に

全国鐵構工業協會・關東支
部(支部長) 大竹良明・群馬
縣鐵構業協同組合理事長) は
3月30日、群馬県高崎市のホ
テルメトロポリタン高崎でウ
ェブ併用のハイブリッド形式
による支部会を開いた。全14
人中10人が会場出席、残る4
人がウェブ上で参加した。

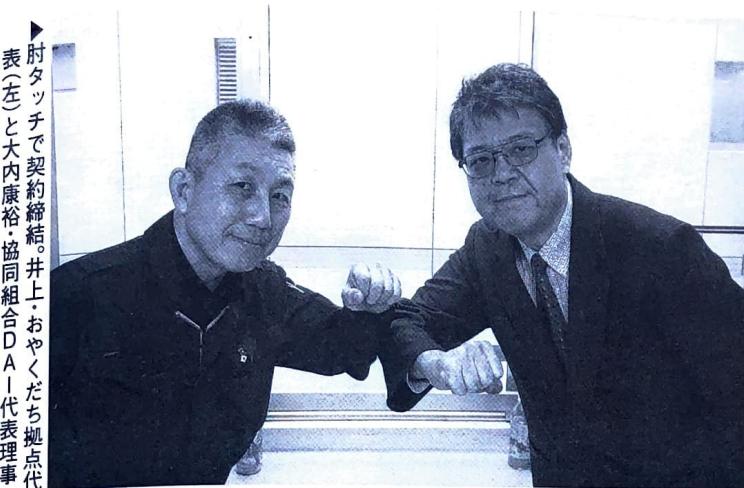
開会にあたり大竹支部長は
「大型物件は動いているもの
の地方の中小物件が少なく、
さらに材料価格が上がる一方
で鉄骨単価が下落傾向にある
など厳しい局面にある。この
ような時こそ情報の共有が必
要であり、久しぶりに多くの
人が顔を合わせた本日の会を通じて積極的に情報を交換して
いただきたい」と述べた。

当日は審議事項として、前
回支部会から持ち越しとなつ
ていた「共済事業」の取り扱
いについて協議。その結果、
全構協と同様に運営委員会か
らは切り離し、関東支部の所
管とすることを決めた。また、
来年度出張支部会の担当であ
る群馬県から同支部会の素案
が示され、開催日を10月21日、
会場を伊香保温泉とし、各組
合、委員会の前任者にも参加
を求める方針を確認した。
このほか大竹支部長が全構
協の第4、5回理事会の内容
を報告。全構協の21年度事業
計画案や予算案、永年勤続表
彰対象者、さらに今年度新設
された①災害時のBCP策定
②事業継承対策③日報デジタ
ル化検討——など各ワーキン
ググループの概要や進捗等を
説明した。委員会報告では運
営委員会から業績実態調査ア
ンケート結果が示された。

44ページ

「電子版」好評配信中

購読お申し込みは ホームページ <https://www.kokozo.co.jp/>



●時々タッチで契約締結。井上・おやくだち拠点代表
表(左)と大内康裕・協同組合DAI代表理事

日本の中企とベトナムとの交流・交易をアドバイスする、おやくだち拠点（高知県高知市浦戸769）はこのほど、ベトナムのDHM（井上紳司代表）はこく、ベトナム人技能実習生の受け入れに際して日本企業の窓口となるDHMの協力監理団体とも契約を結んだ。現在、ベトナムで技能実習生向け溶接学校の開校も生が入国する。すでに九州地区の作関連企業での採用が決定しており、DHM（左）と大内康裕・協同組合DAI代表理事

日本の中小企業とベトナムとの交流・交易をアドバイスする、おやくだち拠点（高知県高知市浦戸769）はこのほど、ベトナム人技能実習生の受け入れに際して日本企業の窓口となるDHMの協力監理団体とも契約を結んだ。現在、ベトナムで技能実習生向け溶接学校の開校も生が入国する。すでに九州地区の作関連企業での採用が決定しており、DHM（左）と大内康裕・協同組合DAI代表理事

投資・人材派遣（ハノイ市、CEO＝フェン・チャン、以下、DHM）の日本総代理契約を締結するとともに、ベトナム人技能実習生の受け入れに際して日本企業の窓口となるDHMの協

り、今後、溶接系のベトナム人技能実習生と日本企業の橋渡しを加速させる。井上代表は「ものづくり企業の課題となっている技能者の高齢化と採用難に対し、各企業のニーズに即した個別メニューによって、ベトナムで技能専門教育を行い、即戦力の人材を紹介する体制を整えた」とし、その一環として井上代表が長年経験してきた鉄骨製作（製鉄メーカーを経てHグレードファブの生産管理責任者として12年勤務）分野

溶接教育はJIS規格に基づき基本級から専門級まで幅広く対応するが、資格試験は日本での受験が必要なため、ベトナムで日本の試験対策も教育カリキュラムの一環として実施する。

DHMはベトナムで溶接・日本語学校を運営するとともに、ベトナムから日本へ技能実習生や特定技能、人材紹介を手掛けていく。

溶接学校はDHMが運営。今年4月に開校し、1期生は8月までベトナムで日本語と溶接技能の訓練を受け、別の教育カリキュラム設定用企業のニーズに合った個別化された実習。生に対して訓練中の技能訓練中もオンラインで技能取扱いを行

ベトナム人実習生を派遣 溶接学校開校し、人材育成



写真左・右=訓練中のベトナム人実習生

合った結果を上げているか否かをオンラインでチェックできるなど、

日本の受け入れ企業が安心できるサービス体制を整えている。溶接関係だけでなく、農業、漁業、食品、織維、建設、金属など技能実習生を育成しており、これまで50社2500人以上を日本へ送り出した実績を持つ。

△協同組合DAI（大阪市、☎06-6195-2122）△当地区は関西九州。

△ハイブリッジ協同組合（埼玉県さいたま市、☎048-708-1098）

△AIS事業協同組合（福島県会津若松市、☎0242-24-1551）△担当地区は関東～中部。

日本企業の窓口となるDHM協力監理3団体は以下の通り。

＊＊＊



DHMサイト
アクセス用



おやくだち拠点サイト
アクセス用